

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 中濃特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年10月18日(水) 10:00~12:00
- 3 開催場所 中濃特別支援学校 特別棟2階会議室
- 4 参加者

会長	大谷 弘	各務原市手をつなぐ育成会理事長
副会長	伊藤 園美	岐阜県立ひまわりの丘第一学園長
委員	朝倉 勝美	せき防災の会代表
	梅田 美保	美濃市ひばり園サービス管理責任者
	酒向 光男	向山町自治会長(欠席)
	佐藤 由紀子	株式会社e-パック サービス管理責任者(欠席)
	澤井 基光	岐阜県民生委員児童委員協議会会長
	村田 泰弘	中部学院大学短期大学部幼児教育学科准教授
	山田 香奈江	岐阜県立中濃特別支援学校同窓会後援会長
	後藤 好子	岐阜県立中濃特別支援学校PTA会長
学校側	大島 達史	校長
	廣瀬 雅行	副校長
	村山 朋子	事務部長
	平野 直子	教頭
	古田 洋子	小学部主事
	森 雅明	中学部主事
	三宅 千絵	高等部主事
	浅野 泉	教務主任

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 災害時における避難者等の受け入れに関する協定について

以下のことについて、関市健康福祉部福祉政策課より説明

- ・県内における特別支援学校の避難所、福祉避難所の協定締結状
- ・県立特別支援学校非常変災時における対応方針(県教委)
- ・大規模災害時の学校における避難所運営の協力に関する留意事項について(文科省)
- ・熊本地震における特別支援学校の避難所運営と環境整備の課題(日本まちづくり研究)
- ・災害時における避難者等の受け入れに関する協定書(案)

意見1: 卒業生保護者の立場から、学校が福祉避難所になれば安心できる。

意見2: 災害時に学校を利用したいと思われる方は、他の避難所での避難が難しい方である。

学校が福祉避難所であることは、地域での大きな役割を果たす。

意見3: 中濃特別支援学校の施設面の課題の改善は難しいため、関特別支援学校と一緒に取り組むことを検討してはどうか。中濃特別支援学校からは人を派遣することも考えられ

るのではないか。

意見4：ひまわりの丘学園は関市と協定を結び、昨年度、開設訓練を実施した。その際、パニック等、個々の児童生徒に応じた対応をとることは困難であり、人手の大切さを痛感した。

意見5：中濃特別支援学校のホールの提供を検討されているということだが、広い場所よりも教室程度の広さの方が安心できる児童生徒もいるのではないか。

意見6：在宅時に災害が起きた場合は、地域が重要である。市町村には「避難行動要支援者」の名簿作成が義務付けられ、地域で障がい者を含む要支援者を支援する取組が進められているため、まずは居住地域が受け入れることが大切である。

意見7：災害時には生活のベースである地域の役割が大きくなる。災害時には、作業所や放課後デイサービス等、現在利用している事業所も対応されるのではないか。

意見8：災害時に居住地から学校まで避難することは難しい。地域との連携を大切にしていきたい。

意見9：この地域にある大学として、学生ボランティアの派遣等、やれることはやっていくという方針で、県とも協定を結んでいる。

◎災害時における避難者等の受け入れに関する協定については、関市との協定締結に向けて進める方針について、全委員より賛同を得た。

- (2) 令和5年度学校評価アンケートの集計結果と考察、今後の改善の取組について
- ・学校評価アンケートの保護者、生徒、学校運営協議会委員の集計結果と分析について
  - ・集計結果と分析を受けた、今後の部、分掌部の改善の取組案について

意見1：まだ質問項目が多く回答が大変だが、自由記述欄が設けられたことはよかった。

意見2：委員としては、ほとんど学校の様子を見ていない状態で評価することは難しい。判断する材料があると答えやすい。

◎学校評価アンケートの集計結果と分析、今後の改善の取組について、全委員より賛同を得た。

- (3) 高等部作業製品販売価格について
- ・新製品の登録について
  - ・原材料費高騰や原材料費変更に伴う価格変更について

意見1：価格設定の根拠が明確であり、妥当な設定価格である。

◎高等部作業製品販売価格について、全委員より承認を得た。

## 6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、全委員より、災害時における避難者等の受け入れに関する協定の締結に向けた方針、学校評価アンケートの集計結果と分析と今後の改善の取組について賛同を得た。また、高等部作業学習作業製品の登録と価格の変更についても承認を得た。

今後は、学校運営協議会委員の学校参観についていつでも歓迎するとともに、貴重な意見をもとに、よりよい学校運営のため全職員でより一層の努力をしていく。今後の課題として、教職員の社会人としての意識向上と情報発信者としての自覚を促し、豊かな学びの両立に取り組む。